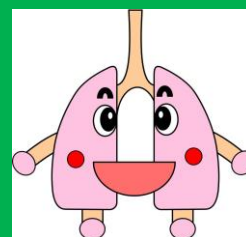


多摩府中保健所感染症週報

平成30年 第51週 (12月17日~12月23日)



肺えもん

今週の傾向

- ★インフルエンザの発生報告数が増加しています。
- ★感染性胃腸炎の報告数も増加しており、集団発生もみられています。
- ★水痘は、管内の報告数は注意報基準を越えて推移しています。
- ★手洗い・咳エチケットを行い、飛沫感染や接触感染を予防しましょう。

● 定点把握対象疾患・定点医療機関当たりの報告数

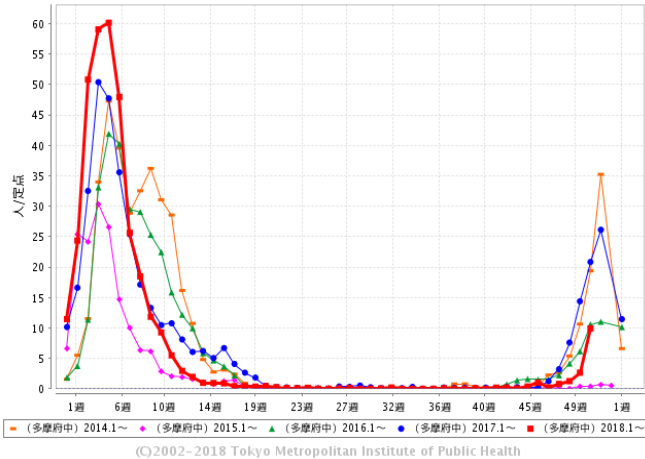
定点	疾患名	多摩府中保健所管内		東京都内	
		第50週	第51週	第50週	第51週
インフルエンザ	インフルエンザ	2.67	9.94	2.68	7.79
小児科	RSウイルス感染症	0.29	0.14	0.27	0.24
	咽頭結膜熱	0.81	0.38	0.53	0.40
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5.05	5.00	3.26	3.59
	感染性胃腸炎	13.05	15.24	12.59	13.64
	水痘	1.05	1.48	0.77	0.67
	手足口病	0.38	0.38	0.80	0.69
	伝染性紅斑	2.24	2.57	2.05	2.10
	突発性発しん	0.43	0.43	0.40	0.39
	ヘルパンギーナ	0.05	0.05	0.07	0.03
	流行性耳下腺炎	0.05	-	0.06	0.06
	不明発しん症	0.14	0.05	0.05	0.03
	川崎病	-	-	0.02	0.03
眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	-
	流行性角結膜炎	0.50	-	0.54	0.58
基幹	細菌性髄膜炎	-	0.33	-	0.04
	無菌性髄膜炎	-	-	-	-
	マイコプラズマ肺炎	1.00	1.33	0.32	0.68
	クラミジア肺炎 (オウム病除く)	-	-	-	0.04
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	-	-	0.04	0.08
	インフルエンザ (入院)	0.33	1.67	0.20	0.80

今週の状況 …過去5年間の比較

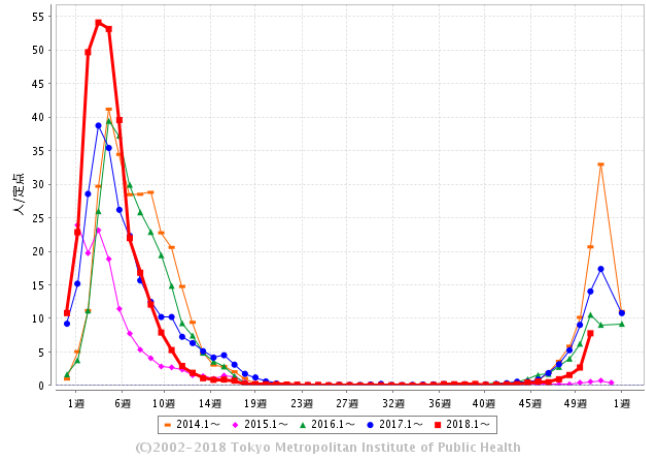
赤線は2018年第51週までの定点当たりの報告数

●インフルエンザ・報告数が増加しています。

多摩府中保健所管内



都内



●感染性胃腸炎の集団発生報告数が増加しています

【施設内での感染拡大防止のポイント】

- ① 特に食事の前やトイレの後は、流水と石けんでしっかりと手を洗いましょう。
- ② おう吐の場合、飛沫が半径2m以上飛び可能性があります。十分な範囲の清掃・消毒を行い、換気も行いましょう。
(有効な消毒は次亜塩素酸ナトリウムです。溶液の調整法は下記を参照)
- ③ おう吐処理やおむつ処理の際は、使い捨てエプロンやマスク、手袋を使いましょう。処理後はしっかりと手を洗いましょう。
- ④ トイレのレバーやドアノブ、手すりなど、手が触れる場所の消毒を行いましょう。



● 感染性胃腸炎「社会福祉施設向け チェックリスト」をご参照ください(次亜塩素酸ナトリウムの調整法も紹介しています)

<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/assets/diseases/gastro/pdf-file/welfare-check-list.pdf>

※東京都感染症情報センター「WEB 感染症発生動向調査」を基に作成しています。

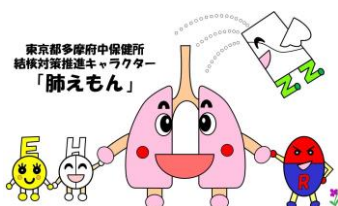
※定点把握対象疾患とは? : 発生動向の把握が必要なもののうち、患者数が多数で、全数を把握する必要のないものです。感染症法第14条により、都道府県は「指定届出機関(定点医療機関)」を指定し、指定届出機関は、対象疾患について患者の発生状況を届け出ることになっています。

参考) 指定届出機関(定点医療機関)

インフルエンザ定点: 管内 33 機関 (都内 419) 小児科定点: 管内 21 医療機関 (都内 262)

眼科定点: 管内 3 機関 (都内 39)

基幹定点: 管内 3 医療機関 (都内 25)



多摩府中保健所 保健対策課 感染症対策担当

TEL : 042 (362) 2334 (代表)



検索

多摩府中 感染症週報